

(低学年…1, 2年)

		達成度調査等及び児童の学習状況から見た成果と課題 ○成果 ▲課題	
		1年	2年
結果の分析	国語	○「話すこと・聞くこと」の達成率は93%である。 ▲文章を書く時に促音・拗音、濁音・半濁音、「は、を、へ」を正しく使うことが苦手な児童がいる。 ・作文や日記など文章を書く活動を計画的に取り入れ、日常的にカタカナ・漢字を書くことに取り組ませる。	○「読むこと」の達成率は89%である。 ▲日常の書字活動の中で、積極的に習った漢字を使おうとする意識が低い児童がいる。 ・漢字の筆順や使い方を、ドリルや小テストを通して、繰り返し練習したり、作文などで実際に使う習慣を身に付けたりして、確実な定着を図っていく。また、漢字の成り立ちを説明することを通して、漢字に興味をもたせるようにする。
	算数	○算数における「技能」「知識・理解」の達成率は93%である。 ▲児童の個人差は大きい。 ・計算カードや同様の問題を繰り返し行うことで、計算に習熟し、活用できるようにする。 ・少数指導担当と情報交換を密にして、個々の児童に合った支援を行うことで算数を苦手とする児童の学力の向上を図る。	○「知識・理解」の達成率は91%である。 ▲「数学的な考え方」の達成率は71%である。 ・具体物を操作する等の算数的活動を通して、数や図形、量感等についての感覚を豊かにするとともに、ICT機器を使って、視覚的に捉えられるようにする。なぜその答えにいたったのか、自分なりの言葉でグループの友達に伝えていく機会や場面を増やしていく。
	生活	○植物や生き物の成長の様子を観察することに対して意欲的に取り組む。 ▲観察したことを発表する時やカードに記述する時に、自分の思いや気付きを表現することが難しい児童がみられる。 ・植物の成長の見通しをもって活動に取り組む、児童の思いや願いに結びつくようにする。	○植物や生き物の観察や世話をすることに意欲的である。 ▲ペア、グループ活動では、カードに記入する時や発表する時に、自分の思いや気付きをもてない児童がいる。 ・自分の活動を振り返ったり、友達のよさを見つけたりする活動を設ける。友達と協力して活動することの大切さを伝えていく。
*達成率…金富小学校の各学年において目標値を上回った児童の人数割合(達成率=達成した人数÷受験者数)			
調査以外の教科についての成果と課題	○音楽では、楽しく音楽にかかわり、歌唱の活動に意欲的に取り組んでいる。 ▲鍵盤ハーモニカの技能に個人差が大きい。運指ができない児童も多数見受けられる。電子黒板などのICT機器を活用して、練習に取り組むようにする。 ○図工では、自分が作りたいものを楽しみながら活動に取り組んでいる。 ▲制作開始までに時間がかかる児童もいる。制作過程を掲示し、見通しをもった活動ができるようにする。児童が作品の完成イメージと制作への意欲をもてるように見本を提示する。 ○体育では、児童の多くが体を動かすことが好きで、楽しみながら運動している。 ▲基礎的な身体能力に課題が見られる。動き方がイメージできるように図や資料を用いたり、生き生きとした律動的な活動を取り入れたりする。		